

こんにちは！ 地域おこし協力隊です

市に移住し、ヨソモノ・ワカモノの斬新な視点で地域おこしに取り組む隊員たちが、市の魅力や日々の活動などを報告します。

新規就農者 成田 邦治

愛知県名古屋市中からつがる市に地域おこし協力隊として夫婦で移住してきましたクニヤンと申します。本名は成田邦治という親からいただいた素敵な名前があるのですが、つがる市は成田さんがとても多い地域と聞きまして名古屋時代のニックネーム【クニヤン】で活動しております。

我々夫婦の夢は お米農家になること

名古屋では19年間食品会社の営業をしておりましたが、田んぼ・お米に出会う一念発起。お米農家になるという夢を持ち、さまでまなご縁をいただいていたつがる市に移住することができました。市役所の方・農家さん・地域の皆さま、本当に感謝しております。

私の地域おこし協力隊としての任務はお米農家を目指し就農研修。最近の日は木造の吉見地区にて朝6時からブロッコリーの収穫・日中は草刈りをしながら稲の成長を観察しています。時には炎天下になろうかという日もありますが、大変な農作業を癒してくれる3つの要素がつがる市にはあります。

1つ目は【つがる市の風】30度に迫ろうかという日でも体感温度をずっと下げてくれます。体感より汗をかいているので水分補給はこまめにとるようにしています。2つ目は【岩木山】雄大な景色が



保全会の花にはいつもお世話になってます

疲労困憊の農作業の疲れを視覚的に癒してくれます。3つ目は【保全会の花】各地域の保全会が路地に植樹してくださっているお花です。農作業に向かう時には元氣とやる気を貰い、作業からの帰路には疲れを癒してくれるお花畑です。このような素敵な土地で就農のチャレンジをさせてもらえることに日々感謝しています。

毎日の農作業に追われて地域の皆様とのコミュニケーションをなかなかとることができておりませんが、これから夏に向けてさまでまなご祭りがあると聞いてワクワクしております。少しずつではありますがですが地域の皆さまとのコミュニケーションをとりながら初めてのつがるの夏を楽しみたいと思っています。

つがる西北五広域連合病院事業医療職員採用試験

【第2回】▼受付期限：9月29日(金)まで ▼採用試験：10月15日(日) ▼採用日：令和6年4月1日

職 種	採用予定人員	受 験 資 格
看護師・助産師	30人程度	昭和54年4月2日以降に生まれた方で左記職種の免許を有する方または令和6年4月30日までに免許を取得する方
診療放射線技師	2人程度	昭和59年4月2日以降に生まれた方で左記職種の免許を有する方または令和6年4月30日までに免許を取得する方
理学療法士	1人程度	
作業療法士	1人程度	
言語聴覚士	1人程度	
管理栄養士	2人程度	

【経験者枠】毎月1日随時採用 ※受付期間および採用予定人員は、応募の状況により変更となる場合があります。

▼採用試験：令和6年3月15日まで随時受け付け、試験日は要相談

▼採用日：合格通知後の翌月1日以降（応相談）

職 種	採用予定人員	受 験 資 格
看護師・助産師	10人程度	昭和54年4月2日以降に生まれた方で左記職種の免許を有する方で、当該職種の経験年数が概ね5年以上の方
診療放射線技師	1人程度	

※各採用試験の詳細は、つがる西北五広域連合ホームページ（<http://www.tsngren.jp/>）をご確認ください。

【問い合わせ・申込先】つがる西北五広域連合病院運営局人事課（五所川原市字岩木町12番地3 つがる総合病院3階） 電話0173-26-6363（内線2327）

知っておきたい！「認知症」のこと

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり、久しぶりにつがる市の実家へ帰省して「広報つがる」を目にしているご家族もいらっしゃるのではないのでしょうか。久しぶりのふるさとには、道路が新しくできていたり、近所に空き家が多くなっていたりと変化に気づくことがあるかと思います。そして、ご家族も。「あれ？こんなに片付いてなかったっけ…」「電話では気づかなかったけどずいぶん痩せたな…」など、久しぶりに会うからこそ、気づきがあるのかもしれません。

以下の『「認知症」早期発見のめやす』を参考に、気づいた変化を家族で確認し、話し合ってみてはいかがでしょうか。思い当たることや心配なことがありましたら、かかりつけ医や地域包括支援センターへご相談ください。認知症は脳の病気です。病気なので早期診断・早期治療が大切です。ぜひこの夏、小さな気づきを大切にしてください。

家族がつくった「認知症」早期発見のめやす

～公益社団法人 認知症の人と家族の会～

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

もの忘れがひどい

- ・今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ・同じことを何度も言う・問う・する
- ・しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ・財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- ・料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ・新しいことが覚えられない
- ・話のつじつまが合わない
- ・テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- ・約束の日時や場所を間違えるようになった
- ・慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- ・些細なことで怒りっぽくなった
- ・周りへの気遣いがなくなり頑固になった
- ・自分の失敗を人のせいにする
- ・「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- ・一人になると怖がったり寂しがったりする
- ・外出時、持ち物を何度も確かめる
- ・「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- ・下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ・趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ・ふさぎこんで何をするのも億劫がりいやがる

(出典：公益社団法人認知症の人と家族の会 作成)

【問い合わせ先】 つがる市地域包括支援センター(稲垣老人福祉センター内) 電話69-7117

開所時間：平日8時15分～17時(土日祝は休み)

「認知症カフェ」に参加してみませんか

認知症の相談や介護の悩みを話し合うほかに、介護に関する講話や作業療法体験などを実施します。

▼名称：つがる市民「みんなのカフェ」

▼日時・場所：8月18日(金)13時～15時
松の館会議室B
9月15日(金)13時～15時
松の館研修室

▼対象：介護が必要な本人や家族、認知症や介護に関心のある市民、認知症の人と家族の会会員、医療・介護専門職など

▼主催：認知症の人と家族の会

【問い合わせ先】 家族の会世話人 秋田谷
電話090-3648-4322

認知症サポーター養成講座を受けてみよう！

市では認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めるため、認知症の人やその家族を応援することを学べる講座を開催しています。ぜひ、この機会に認知症について学んでみましょう。

▼日時：10月11日(水)14時～(90分程度)

▼場所：イオンモールつがる柏

▼申し込み：9月6日(水)までに介護課またはイオンモールつがる柏へ電話でお申し込みください。当日参加も可能です。

※申し込みの際は、氏名と連絡先をお知らせください。

※受講者には、サポーターカードを1人1枚配布します。

【問い合わせ先】 介護課 電話42-2111(内線242)
イオンモールつがる柏 電話25-3450